

市議会の動き

4月から市民税を引き下げ 超過税率から標準税率に

12月定例会市議会は、12月15日から23日までの会期9日間で開かれました。

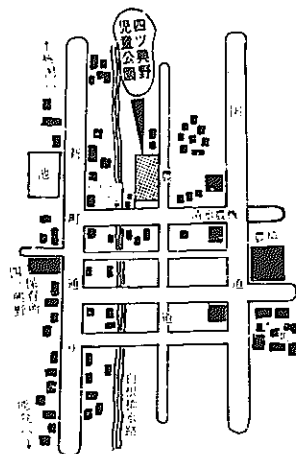
この定例会では、市税条例の一部改正や特別職の報酬など17議案を審議しました。

- ▼可決されたおもなもの
- ▼市税条例の一部改正 現在、市民税は課税標準三十万円をこえる、六千七十人（六月一日現在）の人からは、標準税率より一・三倍高い率で納めていただいています。
- これを四月一日から、ほかの市や町村と同じように、標準税率まで引き下げ、皆さんの負担を軽くします。
- ▼特別職の報酬引き上げ 特別職報酬等審議会の答申に基づいて、次のように改正されました（ ）内は旧
- ▽市長三十二万円（二十八万円）
- ▽助役二十六万円（二十三万円）
- ▽収入役二十三万円（二十万円）
- ▽教育長二十二万五千円（十九万五千円）
- ▽議長十一万五千円（十万円）
- ▽副議長九万五千円（八万円）
- ▽議員八万五千円（七万五千円）
- ▼市災害弔慰金の支給、災害援護資金の貸し付けに関する条例の一部改正 災害を受けた場合の見舞金、貸し付け金の額が引き上げられました。
- ▼市職員の給与に関する条例の一部改正 人事院勧告に基づいて職員の給与を引き上げるものです。
- このほか、一般会計や国保、ガス水道事業会計の五十一年度予算の補正と、五十年年度ガス水道事業会計の決算が、それぞれ認められました。

市長・市議会議員補欠選挙

1月23日が投票日です

▶告示＝1月13日 ▶立候補届け出の締め切り＝14日午後5時まで
▶投票時間＝午前7時から午後6時まで ▶不在者投票＝13日から22日午後5時まで市選管事務局で――。



四ツ興野に児童公園を造成

市役所わき、諏訪木に続いて四ツ興野地区内に、三つ目の児童公園がつくられます。

これは、都市計画事業の一環として進められ、比較的遊び場の少ない市街地に整備しようというものです。

今度つくられる公園は、四ツ

興野公園と名付けられ、面積千七百平方メートル、事業費は六百万円。すべり台や砂場、ブランコなどの遊具施設はもちろん、公園のまわりには、いろいろな樹木を植えて、家族で楽しめるものにした考えで、四月の完成をめざしています。

なお、公園造成は今後も、計画的に取り組んで行く予定です。

次代をにたう 子どもたちのために

昭和五十二年の新春を迎え、市民の皆さまに、つつしんでお祝いを申し上げます。

財政の立て直しに全力投球

昨年、モントリオール・オリンピック、天皇在位五十年という記念すべき式典もありましたが、米国から飛び火したロッキード疑獄、慢性的な経済不況、国鉄運賃などの値上げと続き、ロッキード選挙ともいわれた、衆議院議員総選挙で暮れた、厳しい一年でした。

また、経済の立ち直りのきざしがみられたとはいえ、地方自治体においては、一昨年来続いている不況の波から脱しきれず依然として税収をはじめ歳入の伸びは鈍く、市の財政運営に苦しい年でした。

しかも、昭和四十七年度から実施の財政再建五か年計画をかえ市長として、再建を完了しなければならぬという、一番大切な年でもありました。

確実に事業実現へ

さいわい、市民の皆さまはじめ市議会や国、県から暖かいご協力とご支援をいただき、地方財政の危機のなかで、何事もなく新春を迎えることができました。

加えて、私の選挙公約でありました財政再建など、いくつかの重点施策も、不況により遅れて一部国県営事業を除き、ほぼ予定通り実現することができました。

皆さまに心から厚くお礼申し上げます。

住み良いまち づくりに努力

今後は、継続事業の推進はもとより、次代をにたう子どもたちのために、安全で・健康で・

住み良いまちづくりをめざして最善の努力をする決意です。そのためには、これまで以上に経費の効率的な配分に留意し交通対策も考慮した道路整備。都市下水路、都市ガス供給、学校・社会教育などの環境施設の

52年を迎えて

白根市長

吉沢正五

整備事業。それに土地利用計画や産業基盤の確立などに重点を置き、皆さまの期待にこたえていく所存です。

これら事業の実施にあたりましては、三月に改訂が終わる予定の、総合計画に基づき、皆さまの意見、要望などに十分耳をかたむけ、きめ細かく市政に反映させたいと思います。なにとぞ、いっそうのご理解とご協力を、お願いいたします。

年頭にあたり、皆さまのご健康とご多幸を、心からお祈りいたします。

